

(一)山科の出来事(学区別一覧)

学区別	近 代 (2)		現 代 (1)		学区別
	昭 和 前 期 (1926~1945)		昭 和 後 期 (1) (1945~1970)		
	京都市へ編入 戦時体制下の山科		鉄道(電化、新幹線)、通信(ダイヤル化)の復興 道路網拡大(名神高速道路、五条通、外環状線)		
山 階	1932 山科警察署新設(竹鼻) 1932 八坂消防署山科出張所新設(竹鼻) 1933 滋賀銀行山科支店開設(現三条通) 1934 山科映画劇場新築移転(現三条通) 1934 蓮如上人銅像建立 1937 防空用サイレン設置(山階城北校舎屋上に現存) 1944 蓮如上人銅像撤去(戦時中、銅供出)	1947 新制山科中学校開校(山階小学校内) 1947 八坂消防署山科消防組合発足(西野) 1951 東山区山科支所発足(竹鼻) 1957 山科保健所拡充移転(西野大手先町) 1959 元役場の南半分を京都労働セツツルメント設置 1962 山科電報電話局発足(竹鼻より御陵へ) 1966 『わたしたちの山科(副読本)』山階小学校作成 1970 鐘紡山科工場、長浜へ移転	山 階		
安 朱	1927 山科映画館開業(竹鼻新道西) 1927 和楽園造成(竹やぶ、2000坪開拓) 1929 山科郵便局、四ノ宮より山科駅前へ移転 1934 山科郵便局移転(現三条通、外環西) 1938 山科公設市場開設(駅前通) 1938 山科郵便局移転(現三条通、外環東) 1945 電話局周辺、第4次建物疎開、民家数戸取壊し	1945~6 進駐軍将校達の家に接收された洋館6軒 1949 山科電報局・電話局発足(電気通信省) 1955 洛東高等学校、安朱に移転 1956 東海道本線電化完成(京都~米原) 1962 滋賀銀行山科支店、御陵より竹鼻に移転 1962 瑞光院、山科安朱に移転 1969 安朱小学校開校(山階小学校より分離)	安 朱		
山階南	1930 敬天園開設(社会福祉事業、東野) 1945 京都市児童院山科分院設置(東野)	1949 山科中学校新築移転	山階南		
西 野	1927~鐘紡山科工場拡張(土塁の一部消滅)	1962 老人いこいの家、西宗寺に開設	西 野		
鏡 山	1931 鏡山尋常小学校開校(山階校より分離) 1932 京都薬学専門学校、山科に移転(現、京都薬大) 1945 山科保健所開所(厨子奥苗代元町)	1949 京都薬科大学発足(旧京都薬専) 1952頃 日ノ岡に市営住宅建設	鏡 山		
陵ヶ岡	1928 一燈園、山科御陵に移転(西田天香) 1929 花山天文台設立 1930 疏水堤防決壊(御陵山の谷町) 1932 顕彰碑建立「田邊朔朗、日本最初鉄筋コンクリート橋」 1933 燈影尋常小学校開校(一燈園) 1933 東山ダンスホール開設(日ノ岡) 1935 稚児ヶ池決壊し稚児川氾濫 1939 題目碑建立(日ノ岡)	1954 与謝野晶子歌碑建設(蹴上浄水場) 1958 東山ドライブウェイ起工式 1963 本園寺、下京区より疏水沿いに移転	陵ヶ岡		
音 羽	1936 一燈園、御陵より四ノ宮に移転 1936 山科浄水場竣工(四ノ宮芝ノ町) 1939 音羽尋常小学校開校(山階校より分離)	1949 京阪電車四宮車庫全焼 1952 音羽市営住宅建設(住宅ブームの先駆け)	音 羽		
大 塚	1930 筍組合設置(髭茶屋)	1963 名神高速道路東インターチェンジ設置	大 塚		
音羽川	昭和初期 竹藪が地域の約半分を占める	1967 音羽中学校開校(山科中学校より分離)	音羽川		
勸 修	昭和初期 井村健太郎、井村別荘自ら設計建築	1969 洛東高校生が川原の石発見(中臣遺跡)	勸 修		
大 宅	1931 京都刑務所、山科に新築竣工 1934 山科試験農場建設(日本新薬) 1943 京都カントリー倶楽部閉鎖	1953 山科薬用植物研究所と改称(日本新薬) 1967 橘女子大学、山科で開校	大 宅		
百 々	1935 大石神社創建	1963 花山中学校開校(山科中学校より分離) 1968 清水焼団地完成(川田)	百 々		
小 野	水田が多く、竹藪が少ない地域	1947 佛光院再興(大石順教尼) 1958 名神高速道路、山科で起工式 1970 新山科浄水場完成 観光農園完成	小 野		
共 通	1930 山科町人口 20,396人(5年前よりも5,432人増) 1930 『京都府山科町誌』刊行 1931 山科町から京都市東山区に編入 1933 京津国道開通(現三条通) 1933 ゴルフ道造成(三条街道~ゴルフ場) 1934 第一次室戸台風、京阪神直撃 1935 山科の人口 24,296人 1940 山科の人口 26,232人 1944 洛東用水路開通(東野~日野)	1947 山科の人口 29,976人 6,561世帯 1950 山科の人口 32,341人 6,791世帯 1955 山科の人口 34,567人 7,451世帯 1960 山科の人口 43,878人 10,551世帯 1962 山科川改修工事開始(六地藏より北へ) 1963 名神高速道路開通(栗東~尼崎) 1963 小山大宅線開通(旧東海道線跡) 1964 東海道新幹線開通(東京~新大阪) 1965 山科の人口63,508人 16,961世帯 1967 現国道一号開通(五条バイパス) 1967 外環状線開通(山科~桃山) 1970 山科の人口 94,005人 27,977世帯 1970 鐘紡跡地、総合開発事業発足	共 通		

学区別	現 代 (2)		学区別
	昭 和 後 期 (2) (1971~1989)		
	鐘紡山科工場跡地再開発 山科区誕生		山科駅前再開発 京都市地下鉄東西線開通
山 階	1970~1 鐘紡跡地に、市営住宅等建設開始 1971 鐘紡跡地に、東部土木事務所開所 1971 鐘紡跡地に、山科中央公園完成 1972 鐘紡跡地に、消防署庁舎建設 1973 鐘紡跡地に、安祥寺中学校開校(山科中学校より分離) 1975 山科南団地完成 1978 山科勤労青少年ホーム開設(竹鼻) 1978 山科老人福祉センター開設(竹鼻) 1981 山科図書館開館(竹鼻四丁野町) 1981 山階老人いこいの家、西宗寺より移転	1993 山科合同福祉センター開所 1993 山科図書館、合同福祉センター内に移転 1998 山科青少年活動センター設立(竹鼻) 1999 ヨシボ一閉鎖(旧吉村紡績) 2000 ヨシボ一跡に、複合商業施設開店	山 階
安 朱	1973 山科疏水公園完成(元、瓢箪ダム) 1974 湖西線開通(山科~近江塩津) 1978 安祥寺上寺跡で礎石等発見 1979 春秋山荘、安朱に移転 1986 国鉄新快速、山科駅停車 1988 野外活動施設やましの家開設(教委)	1989 山科駅前再開発事業計画決定 1993 山科駅前再開発事業着工 1993 ポンテリカ開設(工事中の代替市場) 1998 山科駅前再開発事業完成(ラクト山科) 1998 ポンテリカ廃止(跡地はラクト公園) 1998 大丸山科店、フードショップ開店	安 朱
山階南	1973 山階南小学校開校(山階小学校より分離)	1990 山階南児童館開設	山階南
西 野	1973 鐘紡跡地に、山科郵便局拡充移転 1973 山科本願寺発掘調査開始、以後22回調査 1981 西野小学校開校(山階小学校より分離)	2005 山階本願寺「御本寺」の中心部発掘調査	西 野
鏡 山		1993 花山児童館開設	鏡 山
陵ヶ岡	1971 陵ヶ岡小学校開校(鏡山小学校より分離)	1997 陵ヶ岡みどりの径完成(旧京阪線路跡)	陵ヶ岡
音 羽	1988 香倉院設立(一燈園)	1999 山科絵を復興	音 羽
大 塚	1975 大塚小学校開校(音羽小学校より分離) 1976 京都東養護学校開校 1980 音羽中学校、音羽より大塚へ移転 1987 京の田舎民具資料館開館(小山)	1997 白石神社改築(小山) 2007 京都東総合支援学校と改称	大 塚
音羽川	1980 音羽川小学校開校(音羽小学校より分離) 1981 滋賀銀行山科支店、竹鼻より音羽へ移転	2002 山科本願寺南殿跡、国史跡に指定	音羽川
勸 修	1971 中臣遺跡調査開始(以後85回調査実施) 1972 山科南部土地区画整理事業着工 1972 山科総合庁舎開庁 1973~8 区画整理事業に伴う新道路造成 (中臣遺跡調査実施) 1977 勸修中学校開校(山科中学校より分離)	1998 山科地域体育館開館(柳辻)	勸 修
大 宅	1971 大宅小学校開校(勸修小学校より分離) 1975 歓喜光寺、山科大宅に移転 1987 大宅中学校開校(山科中学校より分離)	1994 山科植物資料館と改称(日本新薬) 2005 京都橋大学と改称	大 宅
百 々	1972 花山バイパス開通 1974 百々小学校開校(勸修小学校より分離) 1977 仏具・扇子団地、山科川田に移転	2008 稲荷山トンネル開通(新十条通)	百 々
小 野	1973 はねず踊り復活(随心院) 1979 小野小学校開校(勸修小学校より分離) 1983 山科警察署、竹鼻より大宅に移転	1994 小山大宅線開通(大津淀線南400m) 1994 大津宇治線開通(醍醐北団地~旧奈良街道) 1996 愛宕講復活(小野)	小 野
共 通	1975 山科の人口 126,124人 39,573世帯 1976 京都市山科区発足(東山区役所から独立) 1976 新大石道開通 1980 山科区の人口 136,318人 45,900世帯 1985 山科区の人口 136,954人 46,299世帯	1990 京都市地下鉄東西線建設工事着手 1990 山科区の人口 136,070人 47,635世帯 1995 山科区の人口 137,104人 50,951世帯 1995 西野山大宅線全線開通 1996 御陵六地藏線開通(勸修寺下茶屋~御所内町) 1997 京都市地下鉄東西線開通(二条~醍醐) 1997 京阪電車路線変更(三条~御陵間廃止) 2000 エコランド音羽の杜、供用開始 2000 元役場跡の建物すべて解体 2000 山科区の人口 137,624人 53,741世帯 2001 山科区フロンティア計画(山科区基本計画)策定 2004 京都市地下鉄東西線醍醐~六地藏延長 2005 山科区の人口 136,670人 56,429世帯	共 通